

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所きつずるーむこごみ		
○保護者評価実施期間	2025年11月14日 ～ 2025年12月12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年11月14日 ～ 2025年12月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月12日		

○ 分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
【安心して過ごせる環境】		
子どもたちが安心感と見通しを持って過ごせるよう、生活空間の構造化と清潔な環境整備に特に力を入れています。	子どもたちに合わせたスケジュールの呈示やカレンダーを作成しています。食事・学習・自由活動などの場面に応じて空間を区分けし、分かりやすく構造化しています。終業後の清掃・消毒を徹底し、快適な環境を維持しています。	一人ひとりの特性やその日の体調の変化に合わせて可動式のパーテーションや個別活動スペースの運用を工夫します。スヌーズレンルームなどの活用頻度を高めるなど、環境の柔軟な調整が行えるよう努めます。
【子どもに合わせた関わり】		
職員体制と支援の質の確保に努めています。	基準を満たす職員に加え、資格を有する職員を加配しています。全職員が会議で計画作成に関わり、個々の子どもへのアセスメントを丁寧に行っています。	外部の専門家を招き、研修の機会を継続的に設けます。特に、個別支援計画の作成や、活動プログラムの立案について、知識を増やしチーム検討を行うことで、職員の専門性を一層向上させます。
【保護者との情報共有】		
保護者様との連携、情報発信について、きめ細かく実施しています。	面談、LINE、連絡帳、電話などを活用し、日頃から子どもの状況を伝え合い、共通理解を図るよう努めています。活動概要や行事予定をHPやInstagramで公開しています。	いただいた評価やご意見を基に、業務改善の過程や支援の成果をお知らせする機会を設けます。これにより、支援の透明性を高め、より信頼関係を築くよう努めます。

事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
【地域との繋がり】		
移行支援の取り組みが十分ではありません。	放課後等デイサービスガイドラインで求められる移行支援」が、計画に十分ではありません。	児童館や放課後児童クラブ、地域行事等と連携し、無理のない形で地域交流の機会を段階的に設けます。
【アセスメントツールの活用】		
標準化されたアセスメントツールの活用が不足しています。	日々の行動観察に頼りがちで、標準化されたツールを用いた客観的な評価が十分ではありません、職員への研修が不足していたことが要因と考えられます。	標準化されたツールを活用して、客観的な視点で子どものニーズや課題を分析します。ツールの使い方の研修を設け、アセスメントの質と、それを計画に活かす力を高めます。
【家族を支える取組】		
保護者同士が交流できる取組が多くありません。	父母の会や保護者会に相当するものがなく、交流の機会が設けられていません。保護者向けのイベントも限定的です。	保護者同士が気軽に情報交換できる場を設けたり、ミニ研修会を企画・開催したりします。